

学校だより

6月号

やさしい子 たくましい子 考える子



黒門

発行日 令和7年5月30日
発行者 台東区立黒門小学校
校長 飯塚 雅之

輝く笑顔の運動会 ～礼を尽くすということ～

副校長 松崎 かおり

5月18日に延期となりましたが、今年度の運動会を無事に開催することができました。暑さが心配されましたが、子供たちは元気いっぱい笑顔で参加する姿が見られました。保護者、地域の皆様には、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。子供たちは、この日のために積み重ねてきた練習の成果を、力いっぱい発揮してくれました。一人一人の真剣な表情、友達と力を合わせる姿、最後まであきらめずに懸命に走る姿に、私自身の中で、こみ上げてくるものがありました。子供たちは、いつもたくさんの感動を与えてくれる、とても大切な宝物のような存在であることを改めて感じることができました。

運動会では、多くの「礼を尽くす」場面を見ることができました。運動会は、競技だけでなく礼儀や感謝の心を学ぶ場でもあります。応援してくれた友達に「ありがとう」と伝えること、思い通りの結果が出なかった友達に、「大丈夫だよ」と声を掛けること、審判や係の先生にきちんと挨拶をすること。どれも「礼を尽くす」行いです。勝ち負けだけではない、人としての成長がそこにはありました。また、学校のリーダーである6年生が率先して、「礼を尽くす」行動を見せてくれました。全校児童のために、自分の係の仕事に責任をもち行動したり、友達や下級生たちを熱心に応援したりする姿が見られました。その姿を追うように5年生も「礼を尽くす」行動を見せてくれました。その姿勢が、黒門小学校の伝統なのだと感じることができました。

また、「礼」とは、単なる作法ではなく、相手を思いやる心を形にして表すものだと思います。日本は昔から、「礼に始まり礼に終わる」という言葉があります。これは、武道だけでなく、私たちの日常生活にも密接に関わっています。朝の「おはようございます」、給食のときの「いただきます」「ごちそうさまでした」、帰りの「さようなら」など、日々の挨拶の中にも、礼の心が込められています。

運動会の振り返りの時間には、子供たちから「友達やお家の人から応援してもらってうれしかった!」「上級生のお兄さんお姉さんが、係の仕事をがんばってくれていたから、ありがとうと伝えたい」などの声が多く聞かれました。こうした気付きが、学校行事を通して得られる大きな学びです。今後も学校生活の中で「礼を尽くす」姿勢を育んでいきたいと考えています。

6月は、学年や学級のまとまりがもっと深まり、子供たちが互いに支え合う力を発揮しやすくなる時期です。梅雨を迎え、体調を崩しやすい季節但也有ありますが、心身ともに健やかに過ごせるよう、引き続き温かいご家庭での見守りをお願いいたします。

最後となりますが、運動会の開催に関しまして、保護者の皆様には温かいご支援をいただきましたこと、また、会場準備などで前日からご協力をいただきましたことを、改めて深く感謝申し上げます。

子供たちの成長は、学校と家庭、地域が一体となって育まれていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

